

明治維新を迎えた新政府は多くの有能な人材を北海道へ派遣し、開拓に全力を注ぐことになります。北海道開拓に尽力した先人たちの熱い想いと軌跡をご紹介します。

# 未知は拓ける

創造価値への挑戦、そして未来への扉



## 二代目開拓長官として指揮 東久世通禧 (1833-1912)

出身地／京都府京都市(旧国名／京都)

江戸時代末期から明治時代にかけての公家、政治家。尊王攘夷派公卿の一人。王政復古後は外国事務総督を務め、新政府の外交折衝にあたる。神奈川府知事の後、明治2年(1869年)第2代開拓長官に任命され、実質的な開拓使の事業を始動させる。後に侍従長、貴族院副議長・枢密院副議長などの要職を歴任。

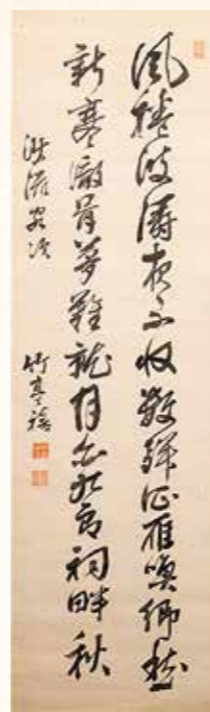


東久世通禧 (函館で撮影された写真と伝わる)

### 「七卿落ち」公卿の一人

東久世通禧は公卿の出身で、孝明天皇の侍従を務めた。文久三年、朝廷は皇族、公卿らの意向を聞くことと国事掛を置いた。

東久世は参政として皇威の拡大を謀ったが、「8月18日の政変」が起こり、三条美実ら七卿とともに官爵を奪われ参内停止になり、長州へ落ち延びた。「七卿落ち」と呼ばれる。慶応3年10月、徳川慶喜が大政を奉還



風塵波湧夜不収。数群征雁喚郷愁。新寒徹骨夢難就。月白九郎初時秋。

自筆の書軸(題「沙流客次」) 東道の際に詠んだ漢詩の書軸



七卿落ち図

### ガルトネル事件解決



ガルトネル事件の舞台 (七飯町)

明治2年、開拓使ができて、東久世は初代開拓使長官鍋島直正の後の第2代長官に任命された。東久世は官吏をはじめ、農工移民などを含む計6000人をイギリス船に乗せて東京・品川沖を出帆し、9月25日、函館に到着、開拓使出張所を開設した。函館はまだ箱館戦争の戦塵がくすぶっていた。もともと難題だったのがロシア人ガルトネルが旧幕府軍の榎本武揚と結んだ、99年間の租借契約だった。

ガルトネルは函館駐在ロシア副領事の兄で、国際紛争になるのを恐れた東久世は折衝を重ね、賠償金6万2500ドルを支払って解約した。ここが七重勸業試験場として北海道農業の中心的存在となっていく。現在の七飯町で、ガルトネル・ブナ保護林の標識が建ち、その歴史を伝えている。

### 開拓方針を定める

もう一つの難題は場所請負人制度の廃止。北海道にはこれまで各地に場所が置かれ、請負

### 《開拓神社》

開道70周年にあたり北海道開拓に偉大な功績のあった功労者の御霊をお祀りし、永久に尊崇申し上げたいという当時の北海道長官石黒英彦の提唱によって、昭和13年(1938年)8月15日に北海道神宮内に松浦武四郎をはじめ36柱の御霊がご鎮座になりました(現在37柱)。その後昭和63年(1988年)、御鎮座50周年を記念して現在の拝殿が御造営されました。



開拓神社  
・札幌市中央区宮ヶ丘474番地  
・TEL.011-611-0261  
(北海道神宮社務所)

■協力：北海道神宮、「開拓の群像」刊行委員会



北海道新道切り開きを報じる絵

人と称する商人がすべてを取り仕切っていた。東久世はこれを廃止し、諸藩に支配地を割り渡し、移民を招聘して開拓に当たらせた。明治3年1月、札幌本府建設に当たっていた島義勇判官が開拓費用を使い過ぎるので、上京して事情を訴えた。これにより島は罷免になる。函館に戻った東久世は、道内を巡視する途中、札幌に立ち寄り、島の計画を目のあたりにして感嘆し、より励むよう指示した。明治4年、開拓使本庁を札幌に移し、6月には参議副島種臣とともに開削された本願寺街道を視察した。この秋、侍従長に転じるが、在任中に決めた開拓の大方針は着実に進められ、北海道の基盤が築かれていった。

## 第9回 北海道神宮フォトコンテスト

北海道神宮の周辺は自然の恵みの宝庫です。神宮境内の四季折々の景色や、初詣詣、七五三詣、結婚式などの人々の様子。北海道神宮例祭(札幌まつり)、開拓神社例祭(神輿渡御)、神饌田での行事などの祭風景など、当神宮に関わる写真をお送りください。

学生部門も作品募集中

応募部門：①一般部門(専門学校、大学生含む) ②学生部門(中学生、高校生)

応募締切  
平成31年  
3月10日(日)  
消印有効

賞品  
神宮賞 各部門1名  
▶賞状・賞金10万円  
(学生部門は図書カード5万円)

奨励賞 各部門2名  
▶賞状・賞金5万円  
(学生部門は図書カード3万円)

入選 各部門20名  
▶賞状・協賛会社賞品

●入賞・入選発表：平成31年4月上旬(北海道神宮ホームページにて)  
●入賞・入選作品展：平成31年4月～9月以内 神宮境内予定  
主催／北海道神宮 後援／北海道神宮奉賛会 協賛／中西印刷株式会社

北海道神宮

〒064-8505 札幌市中央区宮ヶ丘474  
TEL.011-611-0261 FAX.011-611-0264

▶コンテストについての詳細はホームページをご覧ください。  
www.hokkaidojingu.or.jp 北海道神宮 検索

## 『島義勇伝』

北海道・札幌の礎を築いた、開拓判官「島義勇」の物語  
北海道庁 タイアップ作品!! 佐賀県庁 推奨図書!!

◎札幌市役所 ◎北海道学校図書館協会 ◎佐賀市役所 ◎佐賀市教育委員会  
推薦図書!! 推薦図書!! 推薦図書!!

『島義勇伝』製作委員会 著／エアーダイブ 定価：本体900円＋税 ISBN:978-4-907436-02-5 C0921

発行 Dybooks(ダイブックス) 〒064-0808 札幌市中央区南8条西4丁目422番地5 グランドパークビル3F TEL:011-533-3216 FAX:011-533-3215  
エアーダイブから発信する! 本サイト <http://www.dybooks.jp/>



コミックス  
好評発売中!!  
各書店にて  
お求めください。

150年ほど前まで原野だった札幌は、人口190万人を超える大都市に発展しました。この住みやすく豊かな都市に栄えた背景として、明治2年に開拓判官として赴任した佐賀出身・島義勇の功績は大きく、彼の都市構想が現在の札幌の礎となつていきます。北海道開拓への熱い想いがより多くの人々に届くよう願っています。

